

## しのばず自然観察会より 2024-10 2024.10.01

### 2024年10月の活動 不忍池 定点観察 10月13日(日)



集合:午前10時 不忍池 蓮池南西端  
緑の小旗あり(野外ステージ西側、湯島  
天神下交差点寄り)

今回は雨天中止

持物:筆記用具、双眼鏡、飲み物、雨具  
(マスク、敷物、昼食)

解散は午後1時頃ボート池畔または藤棚  
参加費不要 非会員の参加も歓迎

**11月の不忍池定点観察は、10日(日)の予定です。**

### 不忍池定点観察 2024年9月15日(日)より

9月になっても30℃を越す暑い日が続きましたが、さすがに8月の定例観察日よりはいくぶん歩きやすく感じました15日は9名の参加がありました。コオロギ類の声が聞こえましたが、とても元気で、種類の判別はできませんでした。

9月4日には開花が見られたハスでしたが、この日は名残の不完全な花が一つだけ。例年ならそろそろ鳴き納めのツクツクハウシが元気に鳴き、遅くまで鳴いているはずのアブラゼミの声はありませんでした。

この日の圧巻はハシブトガラス。約100羽のドバトの群れに2羽のハシブトガラスが入ってきました。しばらくして、1羽のカラスがドバトに襲いかかり、あっという間に足で組み伏せました。それから時間をかけて、カラスはハトをつつきました。もうハトは逃げる力を失っていました。ハトをくわえて、カラスは少し移動しました。ハトは死んではいないようで、少し体を震わせていました。やがてカラスはハトの羽をむしり、肉を食べ始めました。少しずつです。この間、ほかのハトは逃げもせず、我関せずとばかり、餌探しやディスプレイをしていました。ハトはカラスに対して、無防備無頓着なようです。

以前、勤務先だった大学の農場で、オナガの群れとカラスとのにらみ合いを見たことがあります。その時は1羽のオナガがカラスに襲われて組み伏せられたのですが、数メートルの距離をとって、十数羽のオナガが威嚇音を発してカラスを取り巻いていました。この時のオナガに比べて、今回のドバトの連帯感のなさが印象的な出来事でした。



確認した鳥:カルガモ、カワウ、カイツブリ、アオサギ、コサギ、ムクドリ、ヒヨドリ、ドバト、スズメ、ハシブトガラス

その他の動物:コイ、モツゴ、コシアキトンボ、シオカラトンボ、コフキトンボ、ヤマトシジミ(蝶)、ナミアゲハ、アオスジアゲハ、ツクツクホウシ、アカミミガメ

開花・結実:ハス、キョウチクトウ(薄桃色花)、サルスベリ(白花・紅花)、カヤ、ジュズ、エノコログサ、シマスズメノヒエ、ノゲシ、タチアオイ、ツユクサ、カンナ、メヒシバ、オヒシバ、ヤブガラシ、ヤブラン、アベリア、(小川潔、小川千恵子)



左:アオサギ 中・右:カイツブリ ひよこの模様が残っている

## しのばず自然観察会50年史 進捗状況

原稿がほぼそろってきたので、これからレイアウト、装丁、編集作業が本格化します。涼しくなったらご相談したいので、お手伝いいただける方は10月の活動日を目途に声を掛けてください。しのばず自然観察会創立 50 周年に当たる2025年9月15日が出版日の目標です。残りあと1年弱、編集、校正、運搬・発送等、皆さまの力をお貸しください。(小川潔)

しのばず自然観察会 事務局 〒110-0001 台東区谷中3-1-9 小川潔 方  
1975年創立 電話 03-3828-8775 URL:<http://sinobazu.extrem.ne.jp>  
郵便振替 00100-8-84609 しのばず自然観察会 年会費 2,000 円

\*\*2023年以前の会費未納の方もお忘れなく！退会の場合は早めに葉書で事務局へ\*\*

## 2024年9月15日の観察会から 小川千恵子

9:11

晴、風が強い。暑い。コンベックス(金属製小型巻き尺)を持つ。

ドバトは浮き橋デッキに1羽だけ。アオスジアゲハが水面の方から草地へ飛ぶ。ジュズダマは葉が緑や茶色。実は白や黄色っぽい。ひっくり返したボート上には何も居ない。いつもけたたましい声が聞こえるオナガザルの声は全く無い。(あとで飼育場が工事中ときく)

動物園内の桜(たぶんソメイヨシノ)の木2本の歩道に伸びていた大枝がブツリと切られ、上の方に伸びた大枝も切られて丈が詰められている。何とも痛々しい姿。

ボート池北側の縁の地面にイネ科の長い葉が一带に茂る。測ると84cm。葉は湾曲を描いて、先っぽがたれ下がる。その地の北側の手すりの下に20~30cmの草丈のメヒシバ、シマスズメノヒエ。少し西側の地にはメヒシバ45cm、シマスズメノヒエ50cm。

西へ進む。ヒルガオの葉?小さな黄色い花のカタバミ。ヤブガラシが一面を覆う。アオスジアゲハが飛ぶ。

ハンノキの下をドバトが2羽歩く。他にドバトの姿は見えず。桜の南はヤブガラシ、シマスズメノヒエ、トウモロコシ様の葉の植物。ヘラオオバコは穂が5~8cmに伸び、茶色っぽくなり、そこに着く小さな白い花は見られない。南からの風で、穂を北へたれながら揺れる。

アキニレの北は陽陰で、風が通ってとても涼しい。ヤマトシジミ。

トリモニュメントの南一帯でイネ科の葉丈70cmの植物が風にそよぐと、この一画だけ草原の感じ。葉の下には、カタバミ、ヤブガラシ、例の謎の丸い葉群、エノコログサ。

いつも、帰りに座るデッキの少し手前。シマスズメノヒエの花穂は60~70cm、葉は40cmで、風に揺れる葉の波の上に花穂が飛び出ている。道端の手すり下はメヒシバ。

池中の鉢の中のガマの穂が長くなり、濃い茶色。

タチアオイは枝が長いのは250cm。ほとんどが枯れて茶色だが、1~2本はまだ葉が緑で花がピンクと白数輪残る。その南の方の切られたタチアオイは、丈が60~70cmに伸び、枝が1本伸びてピンクの花2輪、実が2個、そしてまだ少し蕾がある。

ベンチの所はシロツメクサ。カジノキ。ヤマトシジミが飛ぶ。7匹!池鉢にはピンクの花(ミソハギ)が残る。ススキ。

メヒシバが多い。ムクドリ5羽。

ボート池南端のひっくり返したボートの上にドバト2羽が飛んで来る。池の中のロープの上にコサギが飛んで来てとまるがすぐ、枝先が伸びて水についている桜の枝に移る。とても大きかったのがダイサギ?と思ったが、脚先の黄色を確認。カルガモ2羽が泳ぐ。池の東端の岸壁際にアオサギがひっそりと立っている。

蓮池。コフキトンボ?オオシオカラ?2匹がじゃれあうように飛ぶ。ヤマトシジミ。

集合地から

ムクドリ10羽以上が地面から桜の木へ鳴きながら飛ぶ。クロアゲハ、ナミアゲハが飛ぶ。蓮

は背が伸びている。池端の葉は黄を帯びてきている。花は見られず。こげ茶の実はたれ下がり、緑の実は上を向く。

黄色いカンナはまだ咲き残っている。菊の葉丈も伸びている。それらの中に白花のタチアオイ。濃いピンクのオンロイバナがしぼんでいるのが見える。

Saさんが大きな蓮の葉の上に1円玉が2枚のっているのを発見。強い風に葉は揺れる。大きい葉なので1円玉が小さく見え、外国のお金かもと思って手すり内に入って、1円玉であることを確認。背の高い手脚の長いKuさんが行ってヒョいと2円を取って、そばの地面に置く。2円のその後はどんな物語に発展したかは??

コフキトンボが飛ぶ。シオカラトンボが蓮にとまり、Heさんが双眼鏡で見て「目が青い」と。

水上音楽堂西のキョウチクトウはまだピンクの花を付けている。3本のシマサルスベリの一番西側にある木には白い花がついている。先月話題になった幹の皮。木の下にまだ大きいのが落ちていて、地面を良く見ると、10~15cm位にまで干からびた皮が無数に落ちている。Kuさんが「幹にさわってごらん」と言い、Heさんがさわると白い粉が手に付く。そして自宅にあるサルスベリの下に白い粉が落ちていて、何だろう?と尋ねていたけど、これだったんだ、と。で、ふつうのサルスベリも幹の皮がむける?と尋ねると、「むける」とのこと。いったいこの皮はどんな風にむけていくのだろうか?見てみたい。落羽松には小さい緑の実が見える。

浮き橋に付けられていた2000個の風鈴は全部なくなり、キッチンカーも全く無い。平穩ないつもの浮き橋に戻った。西入口の水面にある鉢には、アシ、アメリカセンダングサ。

ここ浮き橋から見る蓮の葉は手前から3/4は黄色っぽくなり、北側の1/4はまだ緑。浮き橋に囲まれた池の蓮の葉はまだ緑。こげ茶色のハチスが多数、葉の上につき出ている。

浮き橋を出て、公衆トイレの西側の樹木下の草地に、どうやら誰かが餌をたくさんまいたらしくて、ドバトが100羽位、地面の餌をつつく。そこに2羽のカラスが降りるとドバト達は一瞬飛びはねて、少しカラスから離れるが、飛んで逃げることはしない。カラスの1羽がハトを捕え、大きい木の下に足でおさえてつづく。ドバト達は少し遠巻きにしている。もう1羽のカラスは東側の木の上に飛び、時々鳴く。足元のドバトは動いている。両羽をバタバタさせるがカラスはつづく。少しすると、カラスはドバトを嘴でくわえて、ピョンと少し東へ移動。ドバト達は一瞬さがる。カラスはドバトを下に置き、またくわえてピョンピョン、置く、を繰り返して12~13m、東へ移動。そしてつついて毛をむして食べ始める。他のドバトたちは遠まきから、餌のある所に戻って地面の餌をつつく。カラスにやられたドバトを気にする様子は全く無い。外国からの観光客も見ている。この餌をまいた人はこの現状を見ていたのか?何を思っているのか?朝、ボート池周辺にドバトがいなかったのは、この餌目当てで、早くから集合していたせいかな?

改築中の下町風俗資料館は外観はできていて囲いも無くなったが、立入禁止のコーンが並んでいる。資料館前の地面から2~3段下がった広地から手すりいっぱい広がっている蓮の葉を見ると250cm位はありそうで、見上げるばかり。ここから池中を見るのは無理。

サクラの葉は少し黄色方向に進んでいる。クヌギのドングリ。ゲートボール場の北にあるイチョウ。MiさんとTeさんにうながされて見上げると、2本の伸びた枝に銀杏がピツンリ鈴なり。葉は緑だが実の色は薄い白っぽい緑。

北上して弁天堂参道方向へ。この辺の蓮は地面から1m位の高さに。池全体が見渡せる。青と白の大きな囲いそのまま。中は、大きな木3本の周りにベンチが配置され、その南東にトイレができるらしい。キクモモは茶色の枝だけが有り、葉は無い。タイリョウ桜の葉の一部が茶色になってきた。ツユクサ、ヤマトシジミ。

弁天堂入口手前の水が流れこんでいるところは5×5m位の水面になり、その周りの水面には少しの蓮の葉が浮き、その背後は丈の高い蓮の葉が伸出してきて水面を覆い尽くしている。去年まではここで鳥・トンボが見られたが、今年とはとても見られそうにも無い。

参道の橋上から南の蓮池を見ると、先月まで見られた水中のくいが全く見えない程、こども蓮が伸出して水面を覆う。北の動物園池は水面は見え、コイが泳ぐ。中に1匹身体がコイよりスマートで尾が2倍以上に長い魚が泳ぐのを Ku さんが見つける。外来種。名は？

橋上から南の蓮池を見ると、咲き終わって外側の花びら数枚と中の花芯が見られる蓮の花が1輪。今日初めての花。カメラをかまえ男性が「昨日は蕾で、今朝咲いて、もう散っている。ふつうは3日もつのに。この時期に咲くから花も弱いのでしょうか」と。

小藤のたれ下がったつるは切られた。大藤棚の南の地面に紫色のヤブラン。陸地にはえていたアシは無くなった。(刈られた?)大藤棚から西側の出口を出たところのアシで、ビワコカタカイガラモドキを確認。アシの中に Sa さんが背が薄茶色の緑のバツタが止まっていると教えてくれる。緑の中の緑なので、なかなか見つけられないが、見つかる感動。名は？

参道出口の橋のところで上から鳥の鳴き声。Sa さんがヒヨドリと言うが少し違う気がした。が、Sa さんが「ほら、そこに」と指さした先は蓮の葉柄の中。ヒヨドリの幼鳥がいた。

ポート場前を南下。ポート池にカルガモが泳ぐと思っていたら桜の木の下にも4羽。もぐらないういカツブリ1羽が泳ぐ。南下すると向こうからカル2羽が泳いで来る。少しもどって、確認しつつ数えると8羽。

アオサギが池縁に立ち、首を曲げて水面を見つめる。漁?と思って見ていると、すぐ首を伸ばして立つ。「わっしょい! わっしょい!」の声が不忍通りからきこえる。今日は根津神社のお祭り。この辺の蓮の丈は私の背丈位になり、南に行く程低くなる。

## テラスから

テラス手前の黄色とオレンジ色のカンナを He さんが見つける。ここから、南下した通りを見ると樹木が全体的に赤みを帯びてきているのに気づく。まだ 35 度の日が続いているのに樹木は秋を感じとっているのか？

南下した通りにある柳の1本がこんもり丸い形になっていて、南風が吹くと一枝ずつの長い葉の固まりがふわりと揺れながら北へ傾く。美しい! すぐそばの柳は枝数、葉数も少なく貧相なので、風で揺れても目立たない。後者にはお岩さんが似合い、前者には風に揺れるたびに小さな妖精が出てきそう。

暑い中、樹木の陰に入ると風が涼しく、大きな樹木へ感謝! 今日も暑すぎて、持参したお弁当は持ち帰って家で食す。